

平成20年 7 月 15 日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役会長CEO兼社長COO
谷 間 真
(コード番号：3372 東証マザーズ)
問合せ先 取締役・経営支援部長
原 真理
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 1 月 15 日に公表した平成 20 年 11 月期（平成 19 年 12 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 11 月期の連結業績予想の修正

(1) 平成 20 年 11 月通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,500	600	550	275	4,594.67円
今回修正予想(B)	11,800	500	420	210	3,349.28円
増減額(B-A)	300	△100	△130	△65	△1,245.39円
増減率(%)	2.6%	△16.7%	△23.6%	△23.6%	—
(ご参考) 前期実績(平成19年11月期)	9,078	392	318	△65	△1,100.35円

(2) 業績予想の修正の理由

売上高は、主力事業であるとらふぐ料理専門店「玄品ふぐ」のフランチャイズ化による売上の減少及び総菜宅配事業の顧客減少による売上の減少等により既存事業では 10,550 百万円となる見通しですが、平成 20 年 7 月 1 日に子会社化した株式会社だいもん、平成 20 年 7 月 31 日に子会社化予定の株式会社アクト・デリカの売上高等の影響により、業績予想に対して 300 百万円増の 11,800 百万円となる見通しであります。

営業利益は、研究開発型外食事業については順調に推移しておりますが、総菜宅配事業の上半期における損失発生及び株式会社カネジと株式会社アクト・デリカとの事業統合に至るまでの損失を見込んだ結果、業績予想に対して 100 百万円減の 500 百万円となる見通しであります。経常利益は、M&A 関連費用の発生等により、業績予想に対して 130 百万円減の 420 百万円、当期純利益については業績予想に対して 65 百万円減の 210 百万円となる見通しであります。

2. 平成20年11月期の個別業績予想の修正

(1) 平成20年11月通期 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,450	385	500	220	3,675.73円
今回修正予想(B)	7,050	540	520	260	4,146.73円
増減額(B-A)	△400	155	20	40	471.00円
増減率(%)	△5.4%	40.3%	4.0%	18.2%	—
(ご参考) 前期実績(平成19年11月期)	7,250	306	256	△93	△1,568.19円

(2) 業績予想の修正の理由

連結業績予想の修正の理由として記載いたしましたとおり、主力事業であるとらふぐ料理専門店「玄品ふぐ」の業績が順調に推移しており、フランチャイズ化の推進により売上高は業績予想に対して400百万円減の7,050百万円となる見通しですが、直営店のフランチャイズ化による一時的な収益計上もあり、営業利益は155百万円増の540百万円、経常利益は20百万円増の520百万円、当期純利益は40百万円増の260百万円となる見通しであります。

以 上